



図1 サルポマグおよび軽焼マグネシウムからのマグネシウム積算溶出率

表1 大豆試験の3カ年平均値 (2015~2017年、十勝農試)

処理区	生育途中 [※]			収穫時				
	茎長 (cm)	乾物重 (kg/10a)	MgO 吸収量 (kg/10a)	子実重 (kg/10a)	同左 指数	百粒重 (g)	MgO 吸収量 (kg/10a)	交換性MgO (mg/100g)
①無施用区	69.8	396	2.3	338	100	35.5	2.2	12.4
②サルポ区	67.7	381	2.5	342	101	35.6	2.4	26.9
③軽焼区	68.1	381	2.1	344	102	35.7	2.4	15.6

※)2015/8/20、2016/8/16、2017/7/25の調査結果

表2 てんさい試験の3カ年平均値 (2015~2017年、北見農試)

処理区	6月下旬			収穫時						
	草丈 (cm)	葉数 (本/株)	MgO 吸収量 (kg/10a)	根重 (kg/10a)	同左 指数	糖分 (%)	糖量 (kg/10a)	同左 指数	MgO 吸収量 (kg/10a)	交換性MgO (mg/100g)
①無施用区	23.8	11.7	0.63	6433	100	17.4	1121	100	5.9	22.4
②サルポ区	24.6	12.0	0.73	6436	100	17.4	1119	100	5.4	24.4
③軽焼区	23.1	11.6	0.59	6408	100	17.4	1114	99	5.6	22.2

表3 ばれいしょ試験の5事例平均値 (2015~2017年の十勝農試と2016~2017年の北見農試)

処理区	7月下旬			収穫時						
	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	MgO 吸収量 (kg/10a)	塊茎収量(t/10a)				デンプン 価 (%)	MgO 吸収量 (kg/10a)	交換性MgO (mg/100g)
				上いも	指数	規格内	指数			
①無施用区	53.8	3.5	1.6	3.6	100	2.9	100	15.8	1.4	17.9 b
②サルポ区	53.4	3.5	1.9	3.9	107	3.2	109	16.0	1.6	34.3a
③軽焼区	54.0	3.4	1.7	3.8	105	3.2	108	15.7	1.5	24.4ab
④併用区 [※]	53.9	3.3	2.0	4.2	114	3.3	113	16.4	1.6	28.7ab

※)併用区のみ4事例平均値(2016~2017年の十勝農試・北見農試)

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
 道総研十勝農業試験場
 電話 (0155) 62-2431 E-mail : tokachi-agri@hro.or.jp